

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年7月28日(2011.7.28)

【公開番号】特開2010-180211(P2010-180211A)

【公開日】平成22年8月19日(2010.8.19)

【年通号数】公開・登録公報2010-033

【出願番号】特願2010-36014(P2010-36014)

【国際特許分類】

C 07 F 9/34 (2006.01)

C 07 C 211/07 (2006.01)

C 07 C 211/12 (2006.01)

C 07 C 211/63 (2006.01)

【F I】

C 07 F 9/34

C 07 C 211/07

C 07 C 211/12

C 07 C 211/63

【手続補正書】

【提出日】平成23年6月14日(2011.6.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

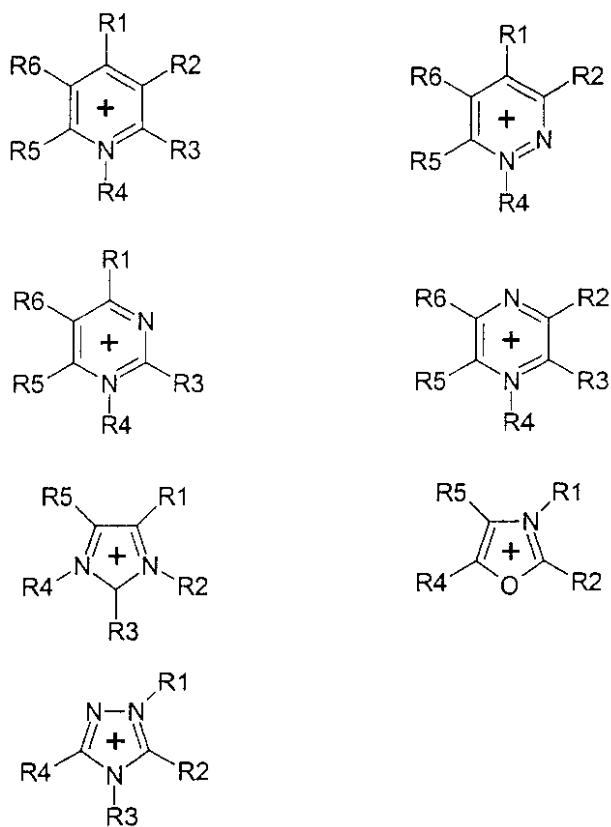
【請求項1】

部分的にアルキル化された、またはパーアルキル化されたホスホニウム、スルホニウム、ピリジニウム、ピリダジニウム、ピリミジニウム、ピラジニウム、イミダゾリウム、ピラゾリウム、オキサゾリウムおよびトリアゾリウム塩からなる群から選択された、ビス(パーフルオロアルキル)ホスフィン酸の塩。

【請求項2】

以下のもの

【化1】



式中、R¹～R⁶は、同一であるかまたは異なっており、互いに直接、単結合または二重結合により結合されていてもよく、各々個別に、または一緒に、以下のように定義されている：

- H、

- ハロゲン、ここでハロゲンは、Nに直接結合していない、

- 部分的に、または完全に他の基、好ましくはF、C1、N(C_nF(_{2n+1-x})H_x)₂、O(C_nF(_{2n+1-x})H_x)、SO₂(C_nF(_{2n+1-x})H_x)、C_nF(_{2n+1-x})H_xにより置換されていることができ、ここで1<n<6および0<x<2n+1である、アルキル基(C₁～C₈)

からなる群から選択されたカチオンを有する、請求項1に記載のビス(パーカルオロアルキル)ホスフィン酸の塩。

【請求項3】

ビス(ペントカルオロエチル)ホスフィン酸ヘキサメチレン-1,6-ジアンモニウム、ビス(n-ノナカルオロブチル)ホスフィン酸ヘキサメチレン-1,6-ジアンモニウム、ビス(n-ノナカルオロブチル)ホスフィン酸トリ-n-ヘキシルアンモニウム、ビス(n-ノナカルオロブチル)ホスフィン酸トリフェニルベンジルホスホニウム、ビス(ペントカルオロエチル)ホスフィン酸1-ブチル-3-メチルイミダゾリウムからなる群から選択される、ビス(パーカルオロアルキル)ホスフィン酸の塩。

【請求項4】

請求項1～3のいずれか一項に記載のビス(パーカルオロアルキル)ホスフィン酸の塩の、イオン性液体としての使用。

【請求項5】

請求項1～3のいずれか一項に記載のビス(パーカルオロアルキル)ホスフィン酸の塩の、相転移触媒としての使用。

【請求項6】

請求項1～3のいずれか一項に記載のビス(パーカルオロアルキル)ホスフィン酸の塩

の、界面活性剤としての使用。